

地域の方々と一緒に



ワークショップ(大楠中学校)



ほたるの里の活動の様子(馬堀中学校)

★輝け!



よこすかの 子どもたち



スクールコミュニティの様子(汐入小学校)



スペシャル遊ぼう会の様子(諏訪幼稚園)

横須賀市の学校教育

みんなで育てる横須賀の子どもたち

横須賀市教育フォーラム開催（1月24日 総合福祉会館にて）

横須賀市では、目指す子ども像として「人間性豊かな子ども」を掲げています。その重点課題の一つ目として、学校・家庭・地域の連携推進を位置付けています。本年度の教育フォーラムも、それらの連携を推進し、開かれた学校づくりの充実を図る目的で開催しました。

令和2年度からは小学校で、令和3年度からは中学校で、新しい学習指導要領に基づいた教育がスタートします。そこで、キーワードになるのが「社会に開かれた教育課程」で、学校・家庭・地域が互いに連携し、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標の実現を目指すということです。

この日は、教職員、学校評議員、PTA役員、市民、約200名が一同に会し、笠原陽子先生の講演の後、各学校の取組等を共有しながら、子どもたちのためにそれぞれの立場でどのようなことができるのかを考えました。



講演 笠原陽子氏

玉川大学教職大学院 教育学研究科 教授

「大人が変われば子どもが変わる 子どもが変われば未来が変わる」

- 学校づくりは社会（地域）づくりであり、地域づくりは学校づくりであること
- 学校と地域が連携・協働するとは、子どもの未来と社会の未来を創っていくこと
- 各地域や学校の実態と学校・家庭・地域それぞれの立場を大切にしながら、活動を充実させること
- 連携をすることでお互いに幸福な気持ちが生まれることが大切

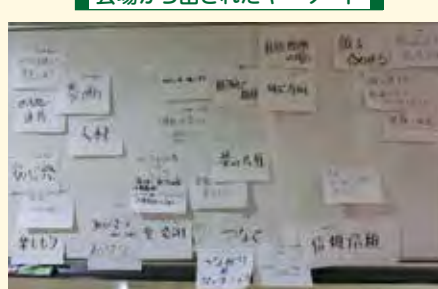
協議会 テーマ「学校と地域が連携して、子どもたちを育むためのキーワードとは？」

「思いが1つになる言葉」と会場からのご意見

- 学校・家庭・地域が目標を共有しているとアイデアが出やすくなる。そのために、日頃からの関係作りが大切になる。
- 昔から学校を中心に地域があったが、「こんな子どもたちを育てたい」という目標の共有がとても大切だと感じた。
- 何のために地域に力を貸してほしいのか、お互いが目的を共有して連携することが大切だと感じた。
- 学校がやっていること、地域がやっていることを知りあわなければならぬ。そのためには、「場」が大切になる。そういった場を作っていきたい。今日もその「場」だった。



会場から出されたキーワード



共に学び、共に育つ

横須賀市児童生徒ふれあいフェスタ（世界自閉症啓発デー inよこすか）

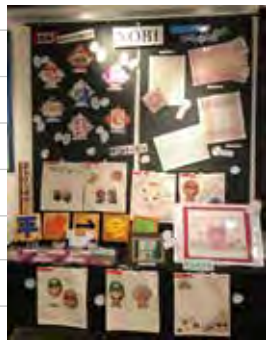
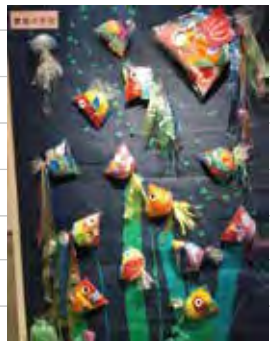
障害者週間キャンペーンYOKOSUKAの一環として、保護者、教員、福祉関係者をはじめとしたたくさんの市民の方に、広く発達障害に関する理解啓発を図ることを目的として、11月29日（金）に横須賀市児童生徒ふれあいフェスタ（主催：横須賀市教育委員会・独立行政法人国立特別支援教育総合研究所、後援：横須賀市）が開催されました。パネルディスカッションは、発達障害のある人たちが地域で生き生きと働く姿を通して、家庭・教育・福祉の連携



によるライフステージに応じた切れ目ない支援について、考える貴重な機会となりました。また、ワークショップでは、発達障害の困難さを体験的に知るコーナー、教材等の紹介、よこすか就労援助センターによる展示、研究の紹介などが行われました。

ふれあい作品展（11月29日～12月3日）

横須賀市内にある特別支援教育を受けることができる学校や学級・教室の子どもたちの作品が展示されました。クラスみんなで協力して作り上げたり、一人でじっくりと取り組んだりした、日頃の学習の成果を発揮した素晴らしい作品がたくさん並びました。



魅力ある学校づくりの取組

池上中ブロック（池上中・池上小）では、国立教育政策研究所の委嘱を受け、学校が全ての児童生徒にとって「心の居場所」、となり、教室にいる児童生徒が「学校が楽しい」「学級が楽しい」と実感できる集団づくりの取組を行っています。新年が明けてすぐ、先生方が子どもたちの意識調査を基に、取組の振り返りを行い、今後の方向性を話し合いました。次年度から、この取組は市内の他の数校でも実施予定です。



選手と一緒にいただきます! 心と体を育む学校給食

みんなで食べよう! 給食で青星寮カレー (長浦小学校)

9月17日(火)、長浦小学校に、横浜DeNAベイスターズの笠井選手、楠本選手、関根選手がやってきました。

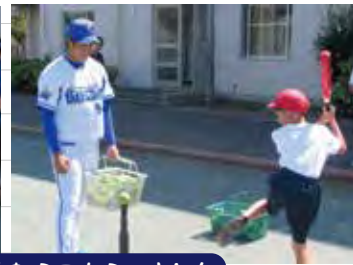
長浦小学校の全校児童と野球教室を行った後、横須賀にある青星寮で毎日出されている「青星寮カレー」を給食と一緒に食べました。このカレーライスは青星寮の人気メニューで、ベイスターズの選手はみんなこのカレーを食べているそうです。横須賀の子どもたちにも青星寮カレーを食べてほしいとの思いから、ベイスターズの栄養士さんと学校の栄養士さんが連携し、給食用にアレンジして今年から献立に取り入れました。



選手登場



投げ方と打ち方を教えてもらいました



終わった後は、選手と一緒に配膳



上手に盛り付け



楽しく、おいしく、いただきました

横須賀市の食育

横須賀市教育委員会では、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校、家庭、地域の連携・協働による食育の充実に力を入れています。また、令和3年8月からは、中学校完全給食がスタートするので、小・中学校9年間を通した、食に関する指導の充実を図ります。



食育で身に付けること



- 食べ物を大事にする感謝の心
- 好き嫌いしないで栄養バランスよく食べること
- 食事のマナーなどの社会性
- 食事の重要性や心身の健康
- 地域の産物や歴史など食文化の理解など